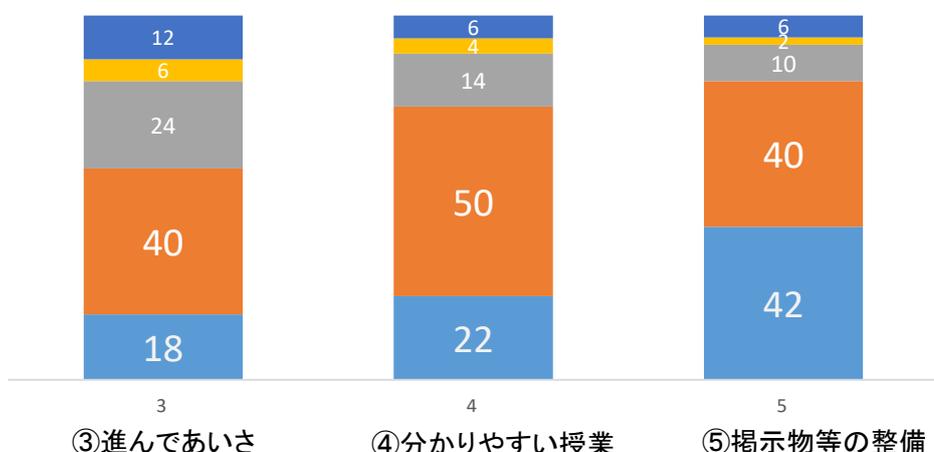


- ③ 子どもたちは、廊下ですれ違った時など「おはようございます」「こんにちは」と進んであいさつをしていた。
- ④ 子どもたちにとって、わかりやすい(=学びやすい)授業が進められていた。
- ⑤ 教室や廊下の掲示物や施設・設備は、子どもたちが生活しやすいように整えられていた。

回答総数 50 人	③ 進んであいさつ			④ 分かりやすい授業			⑤ 掲示物等の整備		
	(人)	(%)	昨年度	(人)	(%)	昨年度	(人)	(%)	昨年度
A : よくあてはまる	9	18	23	11	22	27	21	42	48
B : ややあてはまる	20	40	41	25	50	57	20	40	43
C : あまりあてはまらない	12	24	30	7	14	14	5	10	9
D : あてはまらない	3	6	2	2	4	0	1	2	0
E : どちらとも言えない	6	12	5	3	6	2	3	6	0

授業公開参加者アンケートの結果 ③④⑤

- A : よくあてはまる
- B : ややあてはまる
- C : あまりあてはまらない
- D : あてはまらない



<考察>

あいさつは良好な人間関係を築く有効手段であり、基本的な生活習慣にも位置付けられ重視されています。生活委員会や学年委員によるあいさつ運動や、PTAあいさつ運動など、年間を通して計画的にあいさつの啓発活動を行っています。校外は別として安全な校内においては、学校を訪ねてくる初対面の方々にも積極的にあいさつできるように、一層声をかけていきます。

「分かりやすい授業」について、AB回答率が昨年度よりダウンしている点を反省し、授業改善に取り組みます。また、分からなかった点を教師に質問しやすいように、定期テスト前には授業後の教室を開放して自主学習の場に教師もい合わせています。日常的に活発に質問できる教師と生徒の関係づくりを進めていきます。

「掲示物等の整備」は、おおむね高い評価をいただきましたが、ロッカーの整頓ができていない点をご指摘いただきました。登下校の負担軽減のために、教材の置き勉を進めているため、ロッカーの荷物は増えており、その整頓には一層の心くばりが必要です。今後、防寒具など持ち物が増えていきますので、整理整頓について、子どもと教師で共通理解を持ち取り組んでいきます。

改めてアンケートへのご協力に感謝申し上げます。今後ともご支援いただきますよう、よろしくお願いたします。